

南陽市議会だより

議会だより

2023
1月
vol.172



contents

- 補正予算…………… 2～3
- 予算特別委員会…………… 4
- 一般質問…………… 5～8
- 各常任委員会…………… 9～10

ホームページはこちらから

南陽市議会 [検索](#)



新年のごあいさつ



南陽市議会議長
船山利美

明けましておめでとうございます。市民の皆様には、輝かしく健やかな新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。市議会を代表しまして、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

未だ収束が見えないコロナ禍において、様々なご理解をいただきながら、各議員が自己の良識と信念に基づき議会活動に精励できましたこと心より御礼申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症の猛威は、未だに予断を許さない状況が続いており、地方経済に計り知れない影響を及ぼしております。

本市において、これまでも多くの緊急経済対策事業を実施し地域経済の活性化を図ってきましたが、出口が見えない現状であります。今後は、ウイズコロナ・ポストコロナを見据え、本市の観光や経済、市民生活の安定化を図るべく当局とともに全力で取り組んでまいりますとともに、安全で安心な生活の確保や福祉の向上など、議会としての役割と責任を果たしてまいり所存であります。結びになりますが、諸課題に真摯に取り組みされておられる、全ての方々に敬意と感謝の意を表しますとともに、本年が市民の皆様にとりまして、希望に満ちた実り多い飛躍の年となりますことを心よりご祈念申し上げます、新年のご挨拶いたします。

第3回臨時会

10月21日

承認1件

◆電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業の補正予算を専決処分した一般会計補正予算を承認した。

補正予算1件

◆一般会計補正予算の燃料価格・物価高騰対策及び感染対策等の補正は、予算特別委員会の審査を経て可決した。

12月定例会

11月30日
▼
12月21日

高騰する燃料費・電気料金の補正

同意1件

◆南陽市副市長の選任
任期満了に伴い同意を求めるもの
南陽市副市長 大沼豊広氏（再任）

条例・その他8件

- ◆南陽市庁舎省エネルギー設備等導入改修工事請負契約の締結
- ◆南陽市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正

◆南陽市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

◆地方公務員法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例の設定

◆南陽市健康長寿センター・デイサービスセンター等の指定管理者の指定4件
以上8件は常任委員会の審査を経て可決した。

補正予算6件

◆一般会計補正予算は、燃料費および電気料の補正、給与条例の改正に伴う補正等、特別会計、企業会計の補正は給与条例の改正に伴う人件費の補正
計6件は予算特別委員会の審査を経て可決した。

一般質問

◆6名の議員が2日間にわたり当局の考えを質した。

追加議案1件

最終日に「出産・子育て応援交付金」として、妊娠届出や出産届出を行なった妊婦等に対し、10万円を支給する補正予算1件が追加され、全員異議なく可決した。

(妊娠届出時5万円、出生届出時5万円)
補正額は、1811万5千円となり、補正後の一般会計予算総額は、183億5010万9千円となった。

道路パトロール車両の更新

400万円

平成12年に購入した道路パトロール車が、走行距離が20万kmを超え、エンジンのミッション部分が破損し、部品調達が困難で修理不可能になったことから、道路管理に万全を期すため、車両を更新するもの。



一般会計

補正予算の主なもの

障がい児福祉事業費

522万円

障がい児が、日常生活における基本的な動作の指導や集団生活への適応訓練を受けるために、通所支援サービスを利用する場合に給付するもので、利用者数や利用頻度が増加しているため補正を行うもの。

電気料金及び燃料費の高騰に伴う予算の補正

5,792万円

電気料金と燃料費の高騰に伴い、市内各施設の電気料や燃料費の補正を行うもの。

※電気料金補正額の合計 5,100万円

※燃料費補正額の合計 692万円

(単位：千円)

分類	施設名称	電気料金補正額	燃料費補正額	光熱費合計
市庁舎	市庁舎	7,759	0	7,759
社会福祉施設	健康長寿センター	1,175	0	1,175
児童施設	児童館 (梨郷、中川、吉野)	140	0	140
	赤湯幼稚園	280	0	280
観光施設	交流プラザ「蔵楽」	181	0	181
	総合観光物産センター	861	0	861
小学校	小学校	16,978	3,265	20,243
中学校	中学校	14,191	947	15,138
地区公民館	吉野森林交流センター	319	0	319
	防災センター	534	0	534
	その他公民館	732	0	732
	えくぼプラザ	1,433	0	1,433
文化会館	文化会館	4,266	979	5,245
文化施設	結城豊太郎記念館	1,180	0	1,180
	夕鶴の里	487	0	487
その他	給食センター	0	545	545
	斎場しらぎく	486	921	1,407
	小学校スクールバス	0	266	266
合計		51,002	6,923	57,925

予算



デジタル田園都市 国家構想総合戦略

◎内閣府は骨子案をまとめた。これまでも地方創生に取り組んだが東京一極集中は依然として変わらない。主な内容と本市の対応は。

◎デジタル技術を活用して地方への流れを加速させる施策で、主眼は人への投資。人口減少のトレンドは今後数十年続くとする。国と歩調を合わせ、過去も反省しながら実効性ある地方への活性化の流れを取り込む。

特定健診の通知改善

◎人間ドック勧奨用ハガキが予約した人にも届いたのはなぜか。

◎受診予約をしても受診されない方が8割ほどいる。忘れないで受けてほしいと発送した。

◎誤解を招くような通知は良くない。

◎予約している方には忘れずに受診するように別の通知を行う。

サニタリーボックスを男性トイレにも設置

◎男性も病気によりサニタリーボックスを必要とする方が増えている。男性トイレにも設置できないか。

◎全国の自治体でそのような事例が出始めたことは承知している。様々な疾患をお持ちの方が必要性を感じているので、状況を確認しながら検討する。

J A山形おきたま赤湯、 沖郷出張所廃止と対応

◎画出張所とも来年3月に廃止するようだ。

◎産業振興の観点からどのように考えているか。

◎ATMは利用できる。所有者の意思が第一なので連絡を密にしていく。

飼料高騰！酪農家対策

◎農業、特に酪農が飼料の高騰により危機的な状況だ。市の酪農家への振興策は。

◎県と協調して支援をしており、引き続き状況を注視していく。

地域商店の営業と暮らしを守るため、様々な施策を講じてきているが、更なる商工業への支援が必要では。

◎消費喚起策は、コロナ第8波が到来している中では困難で、今回は提案を控えた。できる状況になれば速やかに対応する。



再生可能エネルギーへの転用

◎電気料金等の高騰が続いている。再生可能エネルギーへの転用について今後の考えは。

◎本市はゼロカーボンシティ宣言をしており省エネは進める必要がある。国のSDGs、カーボンニュートラル政策の方向性も注視し、再生可能エネルギーの様々なバランスを考え導入を検討する。

交流プラザ蔵楽の暖房と照明の改善

◎多目的ホールが寒い。

出入口のロビーが暗い。

暖房と照明の改善は。

◎暖房の改善は難しい。照明は検討する。

四季南陽の会議室

◎来年秋に開館予定の四季南陽のカンファレンスルーム（会議室）のコンセプトは。

◎私見だが少し高級な会議施設と思っている。地区公民館などや、シエルターなんようと利用の棲み分けを期待している。

幼稚園バスの安全装置

◎どのような方法か。

◎エンジンを停止するとブザーが鳴り、ブザー停止ボタンを押すために運転手がバス後部まで行く際に座席を

確認する方法だ。

◎停止ボタンを押すことが目的になることが心配だ。センサー利用

で人的ミスが起きない方法を考えられないか。

◎有効な方法があれば今後も検討していく。



出産・子育て応援 交付金

◎すでに出産している方への通知と10万円を支給方法は。

◎アンケート記入もあるため該当者に通知を行う。支払いは口座振込とする。

◎令和5年3月31日に妊娠届をした場合は5万円だけになるか。

◎本事業は来年度9月までの補正予算なので出生届提出時の5万円も該当になる。

鋭く迫る!

一般質問

一般質問とは

議員が、市政全般にわたり考え方や方針を市当局に質問することです。
一人50分の持ち時間で「壇上質問→市長・教育長等の答弁→再質問」を行います。
12月定例会では、12月5日と6日に6人の議員が質問を行いました。

※質問の内容を要約して掲載します。

※議会ホームページで録画映像を配信しておりますのでご覧ください。

会議録は、3月に公開予定です。

映像配信はこちらから



- 1 山口 裕昭 (倫政会) 大人の発達障害への支援／障害者控除対象者認定書の交付対応
- 2 伊藤 英司 (無会派) 伴走型の子育て支援／HPVワクチン接種の対応
- 3 島津善衛門 (保友クラブ) 地区長の役割と改革／全国一斉学力テストの結果
- 4 佐藤 明 (無会派) 介護保険の改悪撤回／次年度予算編成と重要施策
- 5 板垣致江子 (真政会) 不登校、いじめ、虐待への対応／生理用品の常備と配布
- 6 高岡 亮一 (無会派) 食糧危機に備えて／コロナワクチン接種の副反応



山口 裕昭 議員

大人の発達障害

◎発達支援協議会の開催状況は。

へ市長 今年度7月に協議会を立ち上げ第1回目の会議を開催した。

◎協議会発足の目的は。
今後協議事項がある場合にその都度開催予定で、来年度以降も適時開催の方向だ。

へ市長 発達に不安がある方が円滑に社会活動を送るために関係機関が連携し適切に支援することを目的に、継続的な相談支援や市内外の関係機関との連携した支援を行う。
◎協議会が実効性のあるものになるように、ワークショップなどを含めた対応を適宜適切

障害者控除対象者認定書の交付

にお願いしたい。

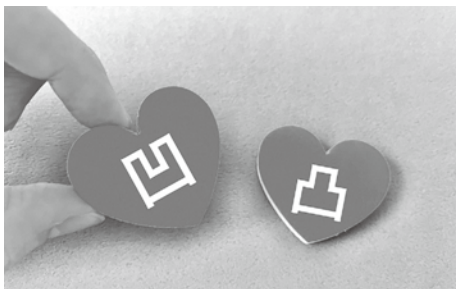
◎山形市のように要介護の等級で障害者・特別障害者控除の振り分けは出来ないのか。

へ市長 障害者控除の対象となる障がい者は、所得税法又は地方税法の各施行令に限定列举されているが、この中で要介護認定者への規定がないため介護度のみで自動的に振り分けは出来ないと考えている。

◎山形市などのホームページには障害者控除、特別障害者控除額が明記してあり、市民が税制の優遇措置を正しく知ることが出来るが、本市ではなぜホームページなどで広報しないのか。

へ市長 議員の指摘をうけ、ホームページへ控除額を明記した。今後も周知徹底に努めていきたい。

◎市民の不利益にならない対応をお願いしたい。



こんな議案を審議しました

鋭く迫る！一般質問

委員会のごとき

その他



伊藤 英司 議員

子育ての不安解消を

伴走型の子育て支援

◎物価高や円高などにより経済的不安が続いている。安心して子育てが出来るように、妊娠期から出産・子育てまで身近に相談に応じ必要な支援につなぐ伴走型の相談支援が必要と考えるが、本市の支援状況は。

〈市長〉本市では、「南陽市子ども・子育て支援事業計画」及び「南陽市母子保健計画」に基づき、妊娠出産期から子育て期に至るまで総合的な施策を展開している。

また、保護者の多様な就労形態に対応する



ための特別保育のほか母子健康手帳交付時や、両親学級等の機会に情報提供を行ない不安解消に努めている。さらに、今年度より18歳までの医療費無償化を拡充した。

◎新たな子育て支援は。〈市長〉ライフスタイルの変化から妊産婦が孤独感や不安感を抱くケースもみられ、妊娠期から出産・子育てまで一貫した相談支援が必要な状況だ。

そのため国では、伴走型相談支援とクーポン等による経済的支援を組み合わせた妊産婦及び子育て世帯支援事業の創設を予定している。国の取り組みに合わせて検討していく。

また、保護者の多様な就労形態に対応する

HPVワクチン

◎子宮頸がんは毎年1万人が罹患し、3千人が亡くなっており、女性にとつて命に関わる疾患だ。丁寧な説明と周知が必要と思うが。

〈市長〉3回の接種が必要。期間が長くなるため丁寧な周知を行なう。周知方法は、定期接種該当者に個別勧奨を行ない市報・ホームページ等で適切に行なう。



島津 善衛門 議員

地区長の役割と改革を

地区長の役割

◎地区長制度と自治会は、住みやすい地域づくりを進めるために大切な役割を担っている。再編の考えは。

〈市長〉本市の世帯数の推移は市制施行時の昭和42年の8878世帯から一貫して増加基調で、世帯人口は、核家族化の進展や単身世帯の増加などにより、昭和42年の4.4人から本年11月現在の2.6人まで減少している。

これまでの再編は、いずれも地区からの申出による再編であり、地区の再編は、人口や世帯数などの基準を設けて市が主導するものではない。地区の歴史

や地域性などを尊重し、自主的な意思に寄り添った対応を行う。

に臨時の集中納付窓口を設置し、複数の募金等を一括納付できる方法を設けるなど、手続の簡略化に向けて関係各課で調整を進めている。

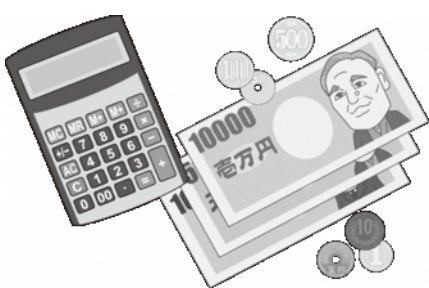
全国学力・学習状況調査の結果と対応

〈教育長〉全国、山形県平均との比較で、国語及び算数・数学はほぼ同等、理科は上回るという結果となった。

児童生徒一人一人が資質・能力を高めていくことができるよう努める。

◎各団体から地区に協力を依頼している複数の募金等は、納入期限や方法等にはばらつきがある。簡略化の要望がある。変更の検討は。〈市長〉来年度の募金等の納入方法は、地区の申請に応じた口座振替による方法や、市役所

地区会計の負担軽減





佐藤 明 議員

介護保険負担増と給付削減が次々と

◎岸田政権が介護保険の見直しを進めようとしている。9月末、利用料の引き上げや介護サービス削減などが検討課題として示された。実施されれば、コロナ禍で疲弊し、物価高騰に苦しむ高齢者はさらに負担を強いられ必要な介護を受けられなくなる人も続発しかねない。現場からは負担増とサービス削減に反対の声が相次いでいる。国民を苦しめる介護保険改悪は撤回すべきと考えるが市長の見解は。

◎厚労省は見直しの具体的項目に
◎サービス利用料の2割負担と3割負担の対象拡大
◎要介護1、2の訪問・通所介護の保険料化
◎ケアプラン作成の有料化
◎老健施設などの多床室（相部屋）の室料有料化
などを挙げている。

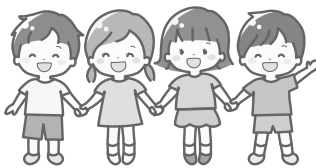


介護保険の利用料は2000年の制度発足から1割負担が原則だったが、15年に一定所得以上の人は2割負担とされ、18年には3割負担も導入された。2000年にスタートした介護保険制度。これまでの経過を踏まえ、今後の対策は。

◎認知件数は。どのように対処しているか。
◎教育長・学校教育課長
30日以上欠席した児童生徒は昨年度小学校12人、中学校34人、今年度小学校9人、中学校33人。それぞれの状況に応じたきめ細やかな対応や心のケアが求められる。早期段階における適切な対応及び教育機会確保に向け全力で取り組んでいる。

いじめ認知件数は昨年度406件で重大事態はなかった。年2回の記名式のアンケート実施と合わせ、面談や相談等を通じ、いじめを適切に認知し、迅速な解消に向け指導・支援している。

◎昨年度、今年度の相談件数は。
◎市長 昨年度は相談件数18件、内11件を虐待と認定。「心理的虐待」が6件、「身体的虐待」が5件。今年度は相談件数が2件で2件とも虐待と認定。
◎「心理的虐待」は分かりにくく、その相違や通告は第三者からが多い。見逃されているのが心配。支援の充実を望む。
◎学校や公共施設のトイレに生理用品の設置や無料配布を行う自治体が増えている。取組みは。
◎市長 設置する予定はない。避難所には備蓄品としてある。



板垣 致江子 議員

不登校、いじめ、虐待の状況は

不登校、いじめ

ている。

◎不登校やいじめの増加もコロナ禍の影響があると思う。学級閉鎖等で登校意欲低下はないか。また、授業の遅れなどは。

◎学校教育課長 学級閉鎖後に登校出来なくなった児童生徒はいない。授業はオンライン等も活用して進めている。

◎教師も負担増でSOSを受け止め切れないとの話もある。向き合う時間も大切に。

虐待は過去最多

◎昨年度、今年度の相談件数は。

◎市長 昨年度は相談件数18件、内11件を虐待と認定。「心理的虐待」が6件、「身体的虐待」



高岡 亮一 議員

現場感覚を大切にしたい対応を

食糧危機に備えよ

◎「世界で最初に飢えるのは日本」という本が出た。国の食料自給率は37%だが、山形県は143%。そのメリットを生かす工夫を。

〈市長〉本市では国の定めた「みどりの食料システム戦略」以前から、「南陽市有機農業推進協議会」を立ち上げ、有機農業の拡大と環境負荷低減に向けて取り組んでいる。

◎8年前に「置賜自給圏推進機構」が発足して全国的にも注目を集めたが、当初の勢いは影を潜めている。3市5町による「置賜定住自立圏構想」として「置賜自給圏構想」の

実現に取り組めないか。「自給圏構想」を一口で言えば「外需よりも内需重視」。「産消費携」意識を高めるのに「朝市」は格好の機会では。

〈市長〉朝市を運営する3団体協議会が行う共同販促事業について「南陽市商店街まちづくり活性化推進事業費補助金」を交付し、支援している。



◎日本は1970年代から摂取カロリーの「供給過剰時代」になった。市場に投入される供給カロリーのうち、消費されるのは3/4だけ、残りの1/4はムダになっている。食糧危機になれば真っ先に考えねばならない。

〈市長〉市報や市のホームページで、「食べきり」の推進や、食品のロスについて広報している。民間団体の取り組みとして、家庭等で余った食品を有効に活用していると聞く。

子どもへのワクチン

◎ほとんど重症化することのない子どもに対して、副反応のリスクを侵してのワクチン接種はいかがなものか。現場感覚を大事に対応してほしい。

〈市長〉現場感覚は大事と認識している。

山形県市議会議長会議会報研修会

11月8日米沢市グランドホクヨウにて、山形県市議会議長会議会報研修会が開催された。講師は、(株)山形新聞社編集局次長兼報道部長の松田直樹氏。

初めに新聞記事の書き方について。最後まで読んでもらえるとは限らないため、重要なことは初めの方に伝えておくなどの説明があった。議会報においても同様のことが言えるとのこと。

次に、見出しの付け方について。見出しだけでも見えてもらえるようなものが望ましい。漢字だけの見出しは避ける、レイアウトについては、文章だけにしない、写真などを入れる、余白を活かすなどのアドバイスがあった。

本市の議会報についての評価は、表紙写真の使い方が良い、一般質問の見出しに答弁があると伝わりやすいなどの指導があった。

今回の研修内容を今後の議会報編集に活かして、読みやすく、親しみのある議会報にしていきたい。

最後は、次期開催市の鶴岡市議会の代表者挨拶にて閉会した。

(議会報編集委員会委員長

伊藤英司)



給与に関する条例の一部改正 定年年齢引き上げに伴う関係条例の整備

総務 常任委員会

11月30日/12月9日

審査報告

付託議案3件

◆特別職職員の給与に関する条例の一部改正

人事院勧告及び山形県人事委員会勧告に準じ所要の改正を行う。

期末手当支給月数を年0.05月分引上げ、年3.25月とするもの。

◆一般職職員の給与に関する条例の一部改正

人事院勧告及び山形県人事委員会勧告に準じ、所要の改正を行う。

①初任給を4000円
また、若年層を中心に1800円〜4000円程度引上げ、係長・補佐級については100円程度を引き上げるように給料表を改定する。

②勤勉手当を0.1月引上げ、期末手当と合わせ、年4.35月とするよう勤勉手当支給月数等を改定。

◆一般職職員の定年年齢引き上げに伴う関係

条例の整備

令和3年6月に公布

された地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴い、職員の定年退職の年齢を引き上げるため、関係条例を一括して改正する。

①現行60歳の定年年齢を令和5年4月から段階的に引き上げ、令和13年4月に65歳とする。
②原則60歳を役職定年年齢とする。
③定年前に退職した職員が短時間勤務を選択できる規定を設ける。
④60歳以降の勤務に関する意思確認の規定を設ける。
⑤60歳を超える職員の給料月額を7割水準とする。

審査の結果、全員異議なく可決した。

(委員長 山口裕昭)

文教厚生 常任委員会

12月12日

審査報告

付託議案2件

◆南陽市健康長寿センター・デイサービスセンターの指定管理者の指定

南陽市健康長寿センター・デイサービスセンターの指定管理者を指定するもの。

・指定管理者

社会福祉法人

「南陽市社会福祉協議会」



◆南陽市立漆山学童保育施設の指定管理者の指定

南陽市立漆山学童保育施設の指定管理者を

指定するもの。

・指定管理者

社会福祉法人

「双葉会」



以上2件について、当局よりこれまでの管理運営等の説明があり、それぞれ長年にわたる実績に基づき、今後とも施設の管理・運営が期待できるとの説明を受けた。

審査の結果、全員異議なく可決した。

なお、指定期間は、いずれも令和5年4月〜令和8年3月までの3年間。

(委員長 片平志朗)

産業建設 常任委員会

12月13日

審査報告

付託議案2件

◆赤湯温泉観光センターの指定管理者の指定

・指定管理者

赤湯温泉旅館協同組合

◆南陽スカイパークの指定管理者の指定

・指定管理者

南陽市スカイレジャー振興協議会

当局より運営、利用実績等の詳細説明があり、それぞれの設置目的を鑑み、引き続き指定を行う旨の説明がなされた。委員より指定管理の在り方等について質疑がなされた。

審査の結果、全員異議なく可決した。

なお、指定期間はいずれも令和5年4月～令和8年3月までの3年間。

●行政報告では、建設

課より施設の閉鎖による市道路線名変更の報告がなされた。

①漆山小中学校線 ↓

漆山小学校線

②漆山小中学校中道線 ↓

漆山小学校中道線

③赤湯保育園線 ↓

南陽警察署西線

④ハイジアパーク線 ↓

山居沢山線

上下水道審議会

上下水道課では、水道事業について少子高齢化・人口減少の社会構造変化に対応するため料金体系の見直しを図るとし、上下水道審議会（有識者7名）を設置する。

本委員会より委員1名の推薦依頼があり、協議決定した。

上下水道審議会委員

島津善衛門

管内視察

10月26日、コロナ対応をとりながら管内視察を実施した。

①山形食品(株)

アセプト工場

【対応】高橋 徹 代表取締役社長

「ペットアセプトパック充填システム」を導入した新工場はペットボトル容器プリフォームを成形し滅菌・充填するもので、CO2の大幅削減にも大きく寄与する。山形県では当社のみ。30名くらいの雇用増を予定。

②漆山地内農地整備事業

【対応】山形県置賜総合支庁産業経済部農村整備課

本事業で設置した水位調整器（フリードレーン管）に漏斗型のアタッチメントを設置することで田んぼガムの機能を持たせている。

④東北中央自動車道（仮称）南陽スマートインターチェンジ設置事業

【説明】建設課

観光推進、企業誘致促進、産業の集積化による経済活性化及び物流の効率化へ期待。

道路網の多重ネットワーク形成は、災害時の緊急輸送路確保、救護物資輸送、復旧支援活動の迅速化を可能にする。

⑤産業団地整備事業

【説明】商工観光課

中川地区において候補地を検討中。

候補地は、土砂災害警戒区域の把握、地盤、スマートインターチェンジからのアクセス、既立地企業（基幹産業）の動向などの観点から選定する。



③漆山果樹園

【対応】漆山陽子オーナー

「自分たちの商品に価値がある」ということがレベルアップに繋がっていく。この信念が様々な受賞の原動力。

（委員長 島津善衛門）

（委員長 島津善衛門）

議会運営委員会 行政視察報告

10月12日～14日

◆鹿児島県そお曾於市議会

「議会のICT化とタブレット導入」

鹿児島県の東部を形成する大隅半島の北部に位置。平成17年に、曾於郡大隅町・財部町・末吉町の3町の合併により誕生。農林業を基幹産業とし、ゆずやお茶、スイカなどが地域を代表するブランド作物で、鹿児島県を代表する肉用牛・養豚・養鶏の畜産にも力を入れている。

曾於市議会も導入に向けては様々な研修や視察を行い、タブレット端末はiPadの12.9インチで、会議用ソフトは多くの自治体が導入しているものと同じサイドブックを使用



している。

また、当初は紙ベースの予算書、決算書と併用していたが、導入後1年程度で完全ペーパーレス化を達成したとのことだった。

議会ICT化は全国的に普及が進み、近隣自治体でも多く導入されている。本市でも特別委員会を設置し来年度の導入に向けて検討を進めているが、議会運営委員会としても、より円滑な導入に向けた取り組みが必要と思う。

◆鹿児島県あいら始良市議会

「議会運営改革」

薩摩半島と大隅半島の結末点で鹿児島県本土の中央に位置し、平成22年に加治木町・始良町・蒲生町の3町の合併により誕生。市内の中心部を九州自動車道が横断し5千トン級の貨物船が着岸可能な加治木港や加治木ジャンクション、スマートICなどの交通ネットワークを有する。

県内初の子育て基本条例の制定。有機農業の「あいら有機の郷」を推進。「住みこちランキング2022」では3年連続県内1位を獲得し、近年県内において一番人口が増加している。

平成24年に議会基本条例を制定後、毎年のように新しい条例の制定や改定を行うなど改



革を継続して進めており、新しく誕生した自治体ならではの熱意とパワーを感じた。

また、改革にあたっては研究検討を熱心に進めている印象を受けた。特に始良市では会津若松市を先進自治体として視察研修に赴くなど大いに参考にされていた。

会津若松市は隣県であり、今後本市でも可能なことは取り入れるなど参考にできることはあると感じた。

(委員長 山口正雄)

総務常任委員会 行政視察報告

11月14日

◆コロナウイルス感染

症の急拡大により当初予定していた神奈川県内への視察を急遽取り止め、国会議事堂の視察研修と第一議員会館の会議室をお借りして勉強会を開催した。

内容「マイナンバー制度の概要と自治体業務への影響について」

・講師 総務省自治行政局住民制度課長補佐(併)本人確認情報保護専門官 岡 航平氏

マイナンバーの交付状況について、本県は全国平均値にほぼ等しい49.1%、また県内の各自治体では飯豊町の普及率が最も高く65.6%で本市は51.0%だった。

先進事例では企業や学校などでの出張申請



や独自のマイナポイント付与など各自治体で知恵を絞っている様子うかがえる。

委員からはマイナンバーカードの目的などについて質問があり、マイナンバーとカードは違うもので、マイナンバーの使用範囲は法律で定められているとの回答だった。

本市の普及率は県内平均より若干高いが、普及率向上のために一層の工夫が必要と感じた。

(委員長 山口裕昭)

こんな議案を審議しました

鋭く迫る！一般質問

委員会のうごき

その他

発掘「南陽の歴史」

②宮内地区

尾崎家の祖 泉親衡(平)を祀る和光神社



NHK大河ドラマ『鎌倉殿の13人』は南陽と関わる事が多く、歴史を身近にしてくれました。

①南陽市一帯を「北条郷」と呼ぶのは、北条時政の妾腹の子、すなわち政子や義時の腹違い「北条相模坊臨空」に由来すると言われます。②大江広元の次男時広は、長井荘(置賜地方)の祖となり代々164年に亘ってこの地を治めます。その子泰秀は、熊野護持に力を尽くして融通神社に祀られています。③寒河江荘(村山地方)を40年間治めた長男親

広の末裔は、滅亡後置賜に逃れて寒河江姓を名乗って現在に至ります。



さらに加えて第40話に「泉親平」が登場しました。泉親平が企てた乱(1213)がきっかけとなって、三代將軍実朝の信頼厚い和田義盛が合戦に追い込まれ、命を落とします。辛い場面です。ドラマでは泉親平はその後行方知れずになっ

飯山から宮内に移ってきた尾崎家の祖として、尾崎家の氏神様である熊野大社末社和光神社に祀られているのです。

『飯山市史』にも慶長三年(1598)上杉景勝の会津移封のさい、尾崎氏に奉ぜられて移った和光明神は山形県宮内町に現存しているとあります。尾崎氏は半年で宮内から福島市の上名倉に移り、その地にも和光神社が建てられて現在に至ります。

その福島和光神社の氏子一行と、「宮澤城」の標柱を持参した飯山市の一行が、宮内の和光神社の神前でバツタリ出会うという出来事がありました。ちょうど直江兼統が主人公の大河ドラマ『天地人』放映の平成21年のことでした。尾崎家は兼統の母の実家です。40年の歴史を超えた不思議な出会いでした。

表紙説明

学校紹介 vol.3

今回の表紙写真は沖郷小学校です。沖郷小学校は昭和53年に現在の校舎に建て替えられましたが、それ以前は木造2階建ての本校舎と体育館で構成されていました。

校舎はその後耐震化工事をへて現在に至りますが、体育館は平成22年に今の体育館が新築されるまで使い続けられました。

写真は、昭和53年の新築工事中で旧校舎と新校舎が一緒に撮影された珍しい航空写真です。

旧体育館は今よりずいぶん小さく卒業式も人数を制限する必要がありました。現在はたくさんの方が参加できる体育館となっています。

ご理解ください

南陽市議会議員一同は、政治倫理の確立を期するため、年賀状などの時候の挨拶状(答礼のため自筆によるものを除く)、諸行事、会合での一切の寄付などは行なっていません。市民のみなさんごご理解とご協力をお願いいたします。

公職選挙法の規定を守り、虚礼廃止を申し合わせています。



編集後記



明けましておめでとうございます。

今年の干支「癸卯(みずのと・う)」は、「これまでの努力が花開き、実り始めること」といった縁起のよさを表しているそうです。

コロナ禍が一時も早く縮小し、今年の干支が意味する年になって欲しいと願っております。

今年も新たな気持ちでわかり易く、市民目線での紙面づくりに取り組んで参ります。

(佐藤 憲一)

- 委員長 伊藤 英司
- 副委員長 山口 裕昭
- 委員 佐藤 憲一
- 島津善衛門
- 高岡 亮一
- 高橋 一郎

